

# PRo-miTImES

第7版

## PRo-miTImES

十一月も中旬、本格的な寒さがやってきました。

今年の夏はご時世もあり、夏の風物詩といえるお祭りに足を運べた方は多くなかったのではないのでしょうか。

本学学祭は十月にありました。今年中止となっていました。が、学祭は前橋と密接な面があるため、今回は「前橋三大祭り」と「前橋花火大会」についてまとめてみました。

それぞれのお祭りに興味を持ってもらい、是非足を運んでいただければ幸いです。

### 夜空のような街明かり

#### に！七夕祭り

夜空に浮かぶ吹き流しや提灯。道を埋め尽くす露店。皆さんは七夕祭りに行ったことがありますか。前橋には北関東最大級を誇る前橋七夕まつりという大きな祭りがあります。

毎年七月の第一月曜日の三日後にあたる木曜日から日曜日までの四日間で行われます。

前橋初市まつりや前橋まつりと共に前橋三大祭りに数えられる前橋七夕まつり。毎年、伝統的な竹飾りに加え、七夕まつりコンクールや浴衣に関するイベント、露店、物産市など様々なイベントが催されています。

今年「WITH コロナ時代」ということで、WEB七夕祭りが開かれました。ツイッターやインスタグラムに「#願いで繋がる前橋七夕まつり」のハッシュタグをつけて願い事を呟くと公式ホームページに投稿されるといいます。

またコロナ対策をした上で、前橋市中心街及び周辺部商店街での七夕飾りが飾られました。

近年新型コロナウイルスの影響で、ステイホームやソーシャルディスタンスを余儀なくされています。しかし、こんな状況だからこそ、夜空に世界の平和と健康をお祈りしませんか。

### ・年明けを元気に！初市まつり

年の始まりは、どのように過ごしますか。テレビをつけながらお雑煮やみかんを食べたり、親戚の集まりに顔を出したりします。年始はなぜか落ち着かずにそわそわしてしまいますよね。

前橋では毎年一月九日に前橋初市まつり、通称「だるま市」と呼ばれる祭りがあります。前橋の中心部で行われる前橋の年の初めを飾るもので、前橋三大祭りの一つです。

起源は毎月四と九の日に開かれていた日用品と生糸の市といわれ、1617年(元和三年)から始まりました。

400年以上の歴史を持つこの祭りは、人々から愛され大切に守られてきました。ちなみにだるま市というのは、だるまなどの縁起物の露店が多く出ることからそう呼ばれるようになったそうです。祭りは十時頃のだるま供養(御焚上)で始まります。

だるまを燃やす姿は迫力があり、圧巻させられます。そして市神様を仮宮に移す「渡御の儀」に続き、二十一時半まで行われ、露店は夜遅くまで賑わいます。

チョコバナナやたこ焼きなど、考えただけでもワクワクしてきますね。

暖かいこたつから抜け出して、家族や友達、恋人など大切な人と前橋で年を始めてはいかがでしょうか。



## ・学校の近くでも踊る！ 前橋祭り

十月に行われる「前橋まつり」。イチョウをかたどった特別な鳴子で商店街を踊るだんべえ踊りに始まり鼓笛吹奏楽パレードや祇園山車、神輿等がある前橋のお祭りです。

前橋まつりは参加が非常に簡単で、ウェブサイトでだんべえの踊り方や俗謡である八木節も掲載されており、誰でも手軽に楽しめるお祭りとなっております。

本学学祭運営もだんべえ踊りに参加している上、本学サークル「えん」も出店されており、特に身近なお祭りとも言えるでしょう。

戦後の復興祭として昔から開催されておりましたが、昨年、昨々年と中止になっていました。

今年の内容が変更された上で開催となっており、十月九日にステージイベントが、十月十日には群馬デジタルにて特別番組が放映されます。

また十月いっぱい、前橋プラザにて特別展示が、ウェブ上では特別ホームページが開設されております。

大学に近い祭りを知る機会として、時間があればご覧になってはいかがでしょうか。



・本学サークル「えん」の出店の様子

## ・迫力！食欲！前橋花火

### 大会

夏の風物詩といえば花火。群馬県の花火といえば敷島公園で毎年九月に開催される前橋花火大会。

橋グルメである豚肉料理の一番を決めるイベントであり、メニューだけでお腹が空きそうになります。

たくさんさんのグルメをほおぼりつつ、見どころ盛りだくさんな花火大会をぜひ一度ご覧になってください。

いかがだったでしょうか。今年はコロナの関係上、学祭を含め多くのお祭りが中止、オンライン開催となってしまうましたが、前橋では沢山のお祭りが毎年開催されております。本年度から前橋に来られた方も、前橋に既にいらっしやった方も、ぜひ各お祭りに興味を持っていただき、来年こそは見て食べて遊んで楽しんで、前橋のお祭りを満喫していただければと思います。